

令和4年度 全国学力・学習状況調査からみえる

おかやの子のすがた

岡谷市教育委員会



「先生は自分のよさを認めてくれる」と
先生とよい関係を築きながら
学校生活を送っている【小・中】

国語、数学、理科が好きで、
主体的に計画を立てて学習に取り組める
生徒が増えている【中】

朝食、起床・睡眠時刻等の
基本的な生活習慣が身についている
【小・中】

岡谷の子の よいところ

児童・生徒質問紙で
肯定的な答えが
多かった設問から

読書が好きな児童・生徒が多い
【小・中】

将来の夢や目標を持って
前向きに生活し、意欲的に
学習に取り組んでいる【小・中】

「話し合う活動を通じて、自分の考え
を深めたり、広めたりできている」と
対話的に学んでいる【小】

予想をもとに観察や実験の
計画を立てるなど、理科学習に
意欲的に取り組んでいる
【小・中】

最後まで粘り強く
解答しようとした
児童生徒が多い
【小・中】

「自分と違う意見を考えることは楽しい」
と他者を尊重しながら学んでいる【中】

教科に関する調査の結果

- 小学校、中学校ともに、国語及び算数・数学の正答率は県・全国平均と同程度となっています
- 理科は、小学校、中学校ともに、正答率が県・全国平均を上回っています。

家庭での1日当たりの読書時間が短い
【小】…25.8%の児童が「全く読まない」
【中】…32.2%の生徒が「全く読まない」

自分にはよいところがあると考えている
児童生徒がやや少ない【小・中】

岡谷の子の 課題

児童・生徒質問紙で
否定的な答えが
多かった設問から

家庭での1日当たりの学習時間が、
全国・県と比較すると短い
【小】…1時間以上学習する児童
岡谷市 52.5% / 全国 59.4%
【中】…2時間以上学習する生徒
岡谷市 24.7% / 全国 35.2%

自分の考えがうまく伝わるように
工夫して発表する機会が
やや少ない【小・中】

自分で計画を立てて学習（予習や
復習）に取り組める児童が少ない【小】

今後の 取り組み

- 各学校において岡谷スタンダードカリキュラムの実践を進め、地域課題の解決に向け大人や友達と共に力を合わせて進める学びを通して、自己肯定感やこれからの社会を生き抜く上で必要となる資質・能力を育ててまいります。
- 日々の授業では引き続き、友との対話や学びの振り返りを大切に授業改善を進めてまいります。
- タブレット PC 等の ICT 機器については、ドリルや調べ学習だけでなく、児童・生徒が意見を共有したり、考えをまとめて発表したりする機会にも活用していくことができるよう実践を進めてまいります。

★各ご家庭においても、お子さんの学習の様子を見守りいただき、声かけ、ご支援をお願いします。

⇒ 裏面『伸びる おかやの子』へ

伸びる おかやの子

～ こんな問題につまづいていませんか ～



算数・数学の問題を一問ずつ紹介しますので、お子さんと問題に挑戦するなどして、家庭での学び方について話題にしてみてください。

小学校 算数

2 (3)《正答率》21.6% (全国)
《小学校5年生で学習します》

- (3) リんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250mLの飲み物に含まれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、 ⑦

上の⑦にあてはまる文を、下の1～3までのの中から1つ選んでその番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

《正答》3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません

岡谷市では、74.5%と大変多くの児童が1と解答していました。飲み物を半分に分けると、果汁の量も半分になることと取り違えて考えてしまったのかもしれませんが、自分自身の生活経験と重ね考え、果汁の割合が飲み物に含まれる果汁の「濃さ」を表していることを捉えることができれば、多くの子が正答となったのではないかと思います。日常の具体的な場面に対応させて考えていくことは、実感を伴った理解につながります。

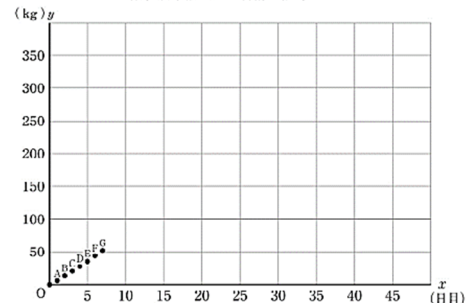
中学校 数学

8 (2)《正答率》38.4% (全国)
《中学校1年生で学習します》

- (2) 愛理さんは、7日目までの取り組みの結果から、目標を達成できるのかおよそ何日目になるのかを予測することにしました。

そこで、下の二酸化炭素削減量の合計の記録のグラフにおいて、原点OからGまでの点が一直線上にあるとし、このまま同じように取り組みを続け、二酸化炭素削減量の割合が一定の割合で増加すると仮定して考えることにしました。

二酸化炭素削減量の合計の記録のグラフ



このとき、目標の300kg削減を達成できるのかおよそ何日目になるかを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何日目になるかを求める必要はありません。

《正答例》(a) 原点Oを通る直線のグラフをかき
(b) $y=300$ のときのx座標を読む。

岡谷市では、11.8%の生徒が(a)については記述できたものの、(b)についての記述が不十分なため、誤答となってしまいました。説明する際には、自分の考えを記述するだけでなく、それを友達のものと比較して振り返り、どのようにすればさらに分かりやすい表現になるか考えることが大切です。家庭学習では、書くだけでなく、読み返すことも大切にしていきましょう。

グラフの他、式や表・数値を用いた記述も正答

学力向上のポイント ーさらに力を伸ばすためにー

① 上の例も参考にしながら、自分で計画し、取り組む家庭学習に挑戦していきましょう

- 授業で学習した内容の理解が確かなものになるよう、授業内容と結びつけた家庭学習（予習・復習）や、疑問や課題を解決したり、自分の興味関心をさらに伸ばしたりする自主学習に取り組みましょう。

② 様々なジャンルの本や新聞などに親しむ機会をもちましょう

- 推薦本の紹介やブックトーク、読み聞かせなどを通して、様々なジャンルの読み物に触れたり、読書の時間を増やしたりしていくことで、創造力や表現力を磨き、自己形成の基盤をつくりましょう。

③ お子さんの個性やがんばりを認める声がけをお願いします

- 日頃からお子さんの「得意なこと」、「がんばっているところ」などを見つけて、認める声がけをしてあげてください。温かな言葉のシャワーが自己肯定感や自己有用感を育てます。それがお子さんの学習意欲の向上につながり、学力を高めるための近道になります。